

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[5] シアナミド</p>	<p>【水質】</p> <pre> graph TD A[水質試料 100mL] --> B[ろ過 ガラス繊維ろ紙 Whatman GF/C 47mm (400 で6時間焼成)] B --> C[分取 5mL] C --> D[誘導体化 10%ダギンシリカロド アセトン溶液 60mg/mL 4-ダギンメチルピリジン アセトン溶液 200μL 攪拌後、50 で60分間加温] D --> E[溶媒抽出 ジクロロメタン 3mL 振とう、静置] E --> F[脱水 無水硫酸ナトリウム] F --> G[固相抽出 Sep-Pak Silika Plus Long Cartridge 690mg] G --> H[洗浄 1回目：ジクロロメタン 5mL 2回目：ジクロロメタン 数mL (ダギンシリカロドの黄色が なくなるまで)] H --> I[2回繰り返す] I --> J[溶出 ジクロロメタン/アセトン(60:40) 10mL] J --> K[濃縮 窒素バーンで 乾固まで] K --> L[溶解 アセトン 1mL] L --> M[LC/MS/MS-SRM-ESI-ネガティブ] </pre> <p>「平成30年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理：LC/MS/MS-SRM-ESI-ネガティブ</p> <p>検出下限値： 【水質】(ng/L) [5] 280</p> <p>分析条件： 機器 LC：Shimadzu Prominence MS：AB Sciex 3200 QTRAP 他 カラム InertSustain C18 150mm×2.1mm、5μm</p>